

## 2025年度 第9回理事会 議事録

2025年12月11日(木)19時30分、WEB上にて理事会を開催した。

定刻に、副会長 伊藤伸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	28名
本日の出席理事数	27名
監事総数	2名
本日の出席監事数	1名

■出席役員：会長) 宇田英幸 副会長) 伊藤伸、平田樹伸 理事) 赤間公一、犬塚功一、江原友樹、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、加藤恒平、北村ミチル、桑原陽子、小池祐士、神山真美、阪井之哉、佐々木竜也、鈴木香織、鈴木康子、高橋啓吾、館岡周平、種沢浩平、近森貴裕、内藤大佑、原裕如、藤田真弓、丸達也、渡部慶和  
監事) 岡田洋一

■欠席役員：理事) 吉田朋子

■他出席：法人管理部) 嘉成望

■他欠席：監事) 西田典史

敬称略

### ■議 題：

#### I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第1号議案 2025年度 第8回 理事会議事録について【法人管理部：嘉成】(資料1)

\*内容を一部修正し、満場一致で可決された。

第2号議案 法務省関係者の研修会参加費について【ここくら委員会：原】(資料2)

・2025年2月28日に大宮ソニックシティ会議室にて、ここくら委員会主催の研修会を開催する運びとなった(13:30開始、定員70名)。

・本研修会では、①川越少年刑務所における県土会の取り組み紹介、②川越少年刑務所の担当者によるご講話、③高知リハビリテーション専門職大学・足立一先生による、刑務所での作業療法活動および県土会活動へのフィードバック等を予定している。

○今回の研修会では、作業療法が刑事司法領域で果たし得る役割について、より広く理解を深めていただく機会といたく、特に法務省関係者の皆様にも幅広くご参加いただきたいと考え、法務省職員の参加費を無料としたい。

\*法務省職員の参加者無料とすることで、満場一致で可決された。

第3号議案 繰越金還元(会費値下げ)について【財務：北村】(資料3)

○県土会費値下げについて、継続審議となっている。

初年度無料制度の試算も考慮しつつ、会費値下げの是非を検討して欲しい。ただし、値下げした場合は、規定に則って永年的な値段になる。初年度会費無料については、キャンペーンとして実施可能である。

○会員構成から会員動向について分析を行った。

- ・埼玉県内の協会の70%は県士会員となっており、21-25歳の若年層が23.7%減少している。2022年をピークに会員数減少傾向。シミュレーションでは2029年度1350名程度の予想。
- ・会費値下げの影響で繰越金の推移は、会員数が減少した場合でもプラス32.3万円～マイナス52万円程度の試算。経費削減に関して会員証のデジタル化で初年度12-20万円および毎年28万円の減額可能。
- ・5~6年後にはなるが事務員数削減となり、100万円の削減の予測。

○会費減額の是非および施策についての意見が述べられた。

- ・物価高騰化の影響により、メリット・デメリットが生じる。  
⇒物価高もあり、経費は増えている現状もある。活動を継続的に行えるようにするには、会費値下げをすると資産が減り、運営への影響が生じる可能性がある。一方物価高もあり、会員の生活逼迫を鑑みると値下げすることもメリットもある。
- ・組織率の低下を防ぐことが求められている現状にある。  
⇒養成校入学者減少による作業療法士のなり手不足という現状がある。  
⇒若者が士会入会のハードルが低くなるような施策を考えることが必要だと思う。  
例えば、入会から3年目~5年目は1,000円にし、登録作業療法士になれるタイミングの時期に9,000円にするなど、作業療法協会が推進している「生涯教育制度」に対してのバックアップ体制を構築するなど「若手に対しての投資をする」という思考を含めて考えるのはどうか。  
⇒既存会員への還元を考慮した取り組みも併せて実施していくことも必要なのではないかと。  
県士会の活動をしている会員のモチベーション向上になるよう、運営していける基盤があることが求められる。一方で、理事や運営スタッフの仕事量の負荷が大きいという課題もある。それに伴い、事務員人件費や県士会員活動をしている会員に、対価をしっかりと払えるように対応していく必要もある。
- ・会費を減額した場合、減額したものを増額することのインパクトが大きい。現状維持で、魅力的な政策を打ち出していくことが重要なのではないかと。その為、もう少し長期的なスパンの動向をみていくことが必要なのではないかと。
- ・総合的判断をしていくことが必要なのでは。  
⇒会費の値下げの是非ではなく、施策を含めての検討が必要なのではないかと。

○岡田監事より

- ・会員数減少には、仕掛けを組み、若手むけの設定を協議していくことと、現会員向けの対応を考えていけると良い。

○会長より

- ・若者への投資がどれくらいできるかが、士会としての肝となる。会員数の増加を一番に考えていきたい。
- ・新人・既存の会員、部局の運営という3つの視点で1500万円の使い道を思考していくと良い。

\*繰越金1,500万の還元方法の議論であり、会費の値下げの是非に留まらず、施策も含め総合的な判断をしていくことが必要である。会費を変更する際には、社員総会での承認が必要であり、その翌年からの適応となる。2026年度の事業計画立案に影響するため採決を検討していた。議論を重ねた結果、今回は、採決を取らず終了とすることとなった。まずは、県士会のあるべき姿を含めて、次年度事業計画予算案を十分吟味して提出することとなった。

#### 第4号議案 電子会員証への移行について【総務：丸】（資料4）

○現行の紙会員証の印刷・送付には、年間278,000円かかっている。県士会会員ページを活用し、会員証を電子化していきたい。初期投資として、11万円が必要経費となるが、それ以降は経費削減となる。会員証は、ホームページで保持できるため、日本作業療法協会に準ずる方法となる。電子化することの審議をお願いしたい。

- ・県士会会員証の使用機会についての確認がなされた。
  - ⇒コロナ以前は、対面の学会や研修会で提示をしていたが、現状は特に提示を行っていない。
  - ⇒会員証発行の有無についての規程としては、特に規定はない。
  - ⇒県都道府県によって使用方法は様々であり、クレジットカードと一体化された会員証を使用している士会もある。埼玉県は、領収証としての役割を果たしている。

\*会員証の電子化移行することについて、満場一致で可決された。

#### 第5号議案 電子会員証の仕様について【総務：丸】（資料5）

○会員証の仕様およびデザインに議論された。

##### ①デジタル会員証の付帯機能について

###### 【初期投資の違い】

- ・ダイレクトプリントアウトのみ：11万
- ・PDFダウンロード：20万
- ・運用途中での変更は可能であり、費用として8万円程度はかかる。

##### ②会員証デザインの投票

デザイン		決選投票
案①	10名	16名
案②	9名	10名
案③	7名	

\*デジタル会員証の付帯機能としては、ダイレクトプリントのみとすることで、満場一致で可決された

\*デザインについて投票を行い、案①のデザインで決定となる。

## II. 報告・確認事項

### 1. 各部局活動報告

- 1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。  
法人管理部に統合させていただく。
- 2) 法人管理部：大橋事務局長より以下の報告があった。  
2026年度事業計画を1月理事会で報告・検討する。BANDに依頼を掲載する。
- 3) 総務部：丸理事より報告事項なし。
- 4) 財務部：北村理事より報告があった。  
会務作業手当の申請については、1時間以上という規定がある。確認の上申請いただきたい。

5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。

第2回・第3回研修会の進捗：

定期便への広報依頼済み、講師公文書発行済み、HPへの広報依頼済み、入金コード発行済み  
学術部メールの機能が止まり、県士会の新規メールのアドレスが発行されたが、タイミングが間に合わず、今年度は部員作成のメールアドレスを使用する。

現在、認定OT（県士会会員）と養成校教員47名に依頼した。回答回収中。

6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。

演題募集開始（～2026年2月1日まで）現在：1件、エントリーサポート：2件

第35回埼玉県作業療法学会 開催日：2026年7月12日（日）

会場：目白大学 学会長：花房謙一（目白大学）

7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。

受講ポイント申請は随時対応しております。ポイント付与の完了メールが届いていない場合は、教育部に連絡いただきたい。

あわせてポイント申請用のエクセルは8月から協会システム変更で新書式となっています。提出時、確認の上提出ください。

8) 生涯教育委員会：神山理事より報告事項なし。

9) 養成教育委員会：岡部理事より以下の報告があった。

第2回の受講者応募状況を考え、臨床実習指導者講習会運営スタッフのご意見も踏まえて、今年度は第3回の実施しないこととする。

12月13・14日 臨床実習指導者講習会開催。

10) 職能開発事業部：藤田理事より報告があった。

一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA-Japan）埼玉支部の作業療法士窓口としての報告事項

1. 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター事業の一環としてのカンファレンスに参加した

日時 11月14日（金）1800～1930

場所 オンライン会議

内容 「あなたは大切な人と人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）していますか？  
～各領域の実践者と共に考えよう」

→小児心臓外科医師、心臓病センター看護師、旭ヶ丘病院訪問看護師からの報告があった。

2. 令和7年度埼玉医科大学国際医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター事業  
介護職向け勉強会に参加した。

日時 11月18日（火）1600～1730

場所 オンライン会議

テーマ 第2回循環器疾患に関する基礎知識 医療職から介護職へのメッセージ

・脳卒中の発症のサインに気づくポイント

・心臓疾患のケアのポイント

・各施設からの質問と専門職からの回答

- 11) 広報部：近森理事より以下の報告があった。  
HP に上がった研修会などの情報を SNS で発信中。  
再度周知が必要な案内などのリマインド対応を開始。
- 12) 地域リハ推進部：館岡理事より報告事項なし。
- 13) 地域包括ケア推進部：田理事より報告事項なし。
- 14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より以下の報告があった。  
11月20日 お城 de カフェ OT3名参加  
12月20日 若年のつどい越谷開催予定  
12月26日 武里オレンジカフェ開催予定  
1月31 協会主催士会における認知症への取り組みを推進する  
担当者同士の情報交換会 部員2名参加予定（吉田、福澤）
- 15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。  
12月3日 災害対策部部会  
1月24日 埼玉県災害リハビリテーション advance コース 開催予定  
<予定>  
1月22日 「九都県市合同防災訓練・図上訓練」オブザーバー  
→不参加（必要時電話対応）  
1月7日 全国 JRAT 事務局訪問：地域包括ケア課に同行  
1月24日（土）埼玉県災害リハビリテーション advance コース  
1月26日 第3回災害リハ運用協議会
- 16) 制度対策部：江原理事より報告事項なし。
- 17) 各ブロック
- 東部ブロック：内藤理事より以下の報告があった。  
2025年11月16日（日）今夜はみんなで語ら Night！OT 子育て世代みんなで語らないと子連れ OK 場所：春日部夢の森公園サークル室 1.2  
【今夜はみんなで語ら Night！研修案内】  
体験しよう！みんなで語るスプリント作成のコツと工夫」  
日時：2026年1月25日（日）18:30～20:30 費用：500円
- 西部ブロック：種沢理事より以下の報告があった。  
11/21 今夜はみんなで語ら Night！（対面；国立障害者リハビリテーションセンター）  
参加者数：18名  
12/17 ブロック長会議”
- 南部ブロック：犬塚理事より以下の報告があった。  
11月18日 南部ブロック座談会を開催した。  
12月16日（火）語ら Night！ 世代別相談会！！～今臨床で困っていることを語り合おう～
- 北部ブロック：桑原理事より報告なし。

- 18) 訪問リハビリテーション振興委員会：加藤理事より以下の報告があった。  
2月6日 訪問リハ実務者研修会 ADVANCE コース  
講師：田中真理子氏（プラーナクリニック）  
テーマ：慢性呼吸器疾患に対する訪問呼吸リハビリテーション  
3月8日 訪問OT 専門研修  
講師：戸田竜也氏（一般社団法人 SCRAP&BUILD）  
テーマ：“精神疾患は難しい”の正体を問うー精神科訪問支援の実践から
- 19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より、以下の報告があった。  
11月に審議して頂いた件について、受講費納入してからキャンセルした方に連絡を実施し、次回の研修会に振替受講することになった。
- 20) 子ども支援委員会：佐々木理事より報告があった。  
令和8年3月8日（日）に「特別支援教育シンポジウム」（仮）を開催予定です。
- 21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。
- 22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。  
第2回、第3回アンケート班会議開催。2025年度高次脳機能障害の方々を支援する医療と福祉のエリアミーティングについて概要について決定し、12月末に会員に向けて案内を開始するため準備を進めている。  
2026年2月21日（土）14:00～15:30  
高次脳機能障害の方々を支援する医療と福祉のエリアミーティング  
会場：東上パールビルディング第一・第二会議室（川越市）
- 23) 運転再開支援委員会：赤間理事より以下の報告があった。  
12/7OT協会 運転と地域移動協力者オンライン会議に出席  
埼玉県のアナケート結果、県の障害者福祉推進課、高次脳機能障害支援センター主催医療者向け研修会で免許センターの講演があることを報告。全国的にはDS導入は増加傾向。実車評価実施の難しさ、施設により実施できる評価に差が出ることなどの意見あり。免許センターや教習所と連絡会を持っているところも内容のマンネリ化で運用の難しさを感じているところもあるとのこと。
- 24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。  
11月26日川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム参加  
川越少年刑務所、障害等により自立が困難な出所者の支援に係わる支援者会議出席  
12月4日こくら会議実施  
12月10日川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム参加  
2025年2月28日こくら委員会主催の研修会を開催予定。  
大宮ソニックシティ会議室（13:30開始、定員70名）。

25) 第 35 回埼玉県作業療法学会：小池理事から報告があった。

演題募集開始（～2026 年 2 月 1 日まで）現在：1 件、エントリーサポート：2 件

第 35 回埼玉県作業療法学会

開催日：2026 年 7 月 12 日（日）

会場：目白大学

学会長：花房謙一（目白大学）

26) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニケーションネットワーク川越：宇田会長より報告事項なし。

27) 倫理委員会：伊藤理事より以下の報告があった。

倫理に関する研修会の資料が各士会に提供されるのは来年度以降になるとの事。また各士会との情報交換会において、倫理に関する研修会の効果や意義についての様々な意見が合った事から、今年度の研修会開催は見送り、HP 上で倫理に関する啓発を行う事で、予定していた研修に代替えする事としたい。来年度以降は OT 協会からの情報提供に基づき、研修会開催について再検討したい。

## 2. 会長・副会長より

### 1) 宇田会長より

本日も活発な意見交換をありがとうございます。ひとりで考えてるとどうしても視野が狭くなりますからね。一人じゃ起きないことが、人と交わることで一人では及ばないことを経験できる。この士会がそういう場であることを実感し、いいチームだなと改めて思いました。これからも互いに刺激あって発想を誘発していきましょう。そろそろ今年も終わりです。来年も元気にお会いできることを願っています。今年 1 年大変おつかれさまでした。ありがとうございます。

#### <11 月報告>

2 日 知って安心脳の健康フェスタ これでもいいのだバンド出演

6 日 ここくら会議

8 日 川越少年刑務所矯正展

10 日 リハ専協会理事会

13 日 理事会

20 日 文京学院大学作業療法学科講義 これでもいいのだバンド出演

お城 de カフェ

26 日 川越少年刑務所 支援会議

#### <12 月予定>

5 日 川越少年刑務所研究授業

11 日 理事会

16 日 認知症本人と家族の会埼玉県支部花俣代表との打合せ

18 日 お城 de カフェ

20 日 若年性認知症本人のつどい越谷

2) 平田副会長より

前回に引き続き白熱した議論が実施できていることが良い会議となっている。  
生産的な議論が出来る組織であると思い、素敵な士会である。

3) 伊藤副会長より

様々なことを進めるためには、多様な価値観の中で進めていくことで良い最終産物が生まれている。個人の成長にもつながるように進めていきましょう。

3. 監事より

1) 岡田監事より

日頃の活動を士会員の皆さんに伝えたい。ご自身の健康、ご家族を大切にしてください。  
1500万円の使用方法について議論が尽きない。これからを託す人たち、今を頑張っている人たちに総合的に還元されていることが重要であるということを感じている。

III. その他

次回理事会：2025年 1月8日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時10分閉会を宣した。

2025年12月11日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会